

Curriculum

# 4年間で余裕を持って確実に国家試験に合格する

ヒューマンケアを基盤とする特色あるカリキュラム ※赤字は学外実習

	1年次	2年次	3年次	4年次
	<p><b>基礎的な看護知識を身に付け、専門的な学修への基礎を固める。</b></p> <p>看護学概論 ヒューマンケアと看護倫理 生活援助論Ⅰ 生活援助論Ⅱ ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 地域共生社会と看護 地域の暮らしと看護</p> <p>実践的な知識と技術を身につけるため、1年次から実習を行います。</p>	<p><b>いよいよ専門領域へ。人間の健康と病気について理解する。</b></p> <p>生活援助論Ⅲ 看護実践方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ 成人看護学援助論Ⅱ 成人看護学援助論Ⅲ 高齢者看護学概論 高齢者看護学援助論Ⅰ 高齢者看護学援助論Ⅱ 小児看護学概論 小児看護学援助論 リプロダクティブヘルス看護学概論 リプロダクティブヘルス看護学援助論 地域・在宅看護概論 地域・在宅看護援助論 精神看護学概論 精神看護学援助論 家族看護論 リハビリテーション看護 産業看護論Ⅰ</p> <p>保健師課程を履修するために必要な科目 学校保健活動論</p> <p>助産師課程を履修するために必要な科目 学校保健活動論</p>	<p><b>高度な看護理論と臨床実習で、看護職としての専門性を深める。</b></p> <p>看護と臨床判断 成人看護学経過別実習Ⅰ 成人看護学経過別実習Ⅱ 成人看護学実習 成人・高齢者看護学実習 高齢者看護学実習 小児看護学実習 リプロダクティブヘルス看護学実習 地域・在宅看護論実習 精神看護学実習 地域包括ケア論 医療安全</p> <p>保健師課程(定員25名以内) 必修科目 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護活動展開論</p> <p>助産師課程を履修するために必要な科目 助産学概論 基礎助産学</p>	<p><b>臨床実習を中心に生きた知識を身につける。</b></p> <p>産業看護論Ⅱ 看護研究方法 ヒューマンケア看護研究 ヒューマンケア総合演習 看護統合実習 看護マネジメント 関係職種連携論 感染看護 がん看護 救急看護 災害看護 国際医療協力</p> <p>充実した実習で専門的な能力と実践力を磨きます。</p> <p>保健師課程(定員10名程度) 必修科目 周産期の基礎 助産診断・技術学Ⅰ 助産診断・技術学Ⅱ 分娩助産技法 地域母子保健 助産管理 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ</p> <p>先進医療 労働衛生関係法規Ⅰ 労働衛生関係法規Ⅱ</p>
看護専門科目群			保健師・助産師専門科目群	
看護の基礎科目群	<p>身体の構造・機能Ⅰ(基礎) 身体の構造・機能Ⅱ(系統別) こころの健康 ウェルネス期看護論 経過別看護論 免疫・感染症 病理学 老年病学 病態と治療Ⅰ(呼吸器・循環器・脳神経・血液) 病態と治療Ⅱ(消化器・腎臓・内分泌・代謝) 公衆衛生学 社会福祉概論 保健医療福祉行政のしくみと看護</p>	<p>病態と治療Ⅲ(筋骨格・感覚器) 病態と治療Ⅳ(小児) 病態と治療Ⅴ(泌尿器・生殖器・産婦人科) 薬理学 栄養生化学 精神医学 画像診断学 カウンセリング 看護関係法規 医療経済入門</p> <p>保健師課程を履修するために必要な科目 疫学 保健統計 保健医療福祉行政論Ⅰ</p>		
ヒューマンケアの基礎科目群	<p>ヒューマンケア概論 物理学 心理学 倫理と医療 人間の生き方(渋沢栄一・論語) 医療の歴史 生活科学 生活と芸術 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ 法学(日本国憲法を含む) 社会学 化学基礎 化学 生物学基礎 生物学 統計学入門</p> <p>物理学 情報処理 大学入門講座 医療 コミュニケーション論 情報学基礎(ICTを含む) ボランティア活動論 東都フロンティア 基礎英語 実践英語 フランス語 中国語 手話入門</p>	<p>教育学 臨床哲学 DEATH「死」とは何か 教育情報論 実践医療英語Ⅰ 実践医療英語Ⅱ 異文化理解とコミュニケーション 国際社会</p>		

国家試験受験(看護師・保健師・助産師)